

平成20年12月26日

道州制協議会 委員
中国経済連合会 会長 福田 督

本日の道州制ビジョン懇談会を所用により欠席いたしますので、申し述べるつもりであった私の意見を下記のとおり提出いたします。本日予定の議題に直接かかわっていない点はあるかと思いますが、よろしくお取り計らいください。

なお、昨今の経済情勢は地方にとって深刻な状況をもたらしており、一層地方の衰退を加速する恐れがあると思っております。従いまして地方の活性化に資する地域主権型道州制に向け議論を前倒しして進めていくことに賛同いたします。ただ、根本的なところでの議論が委員間で共有化されていない点については、座長のリーダーシップにより地方からの意見を十分に汲み上げていただきながら、早急に議論を煮詰めていただきたく思っております。

記

1. 税財政につきましては、これまで議論されてきたように税源問題、財政調整問題等非常に難しい問題があり、国民の合意を得るにはまだまだ検討を要するものと考えられます。また、その前提となる国・地方の役割分担の明確化の議論をもう少し続ける必要があると思われます。その上で、税財政検討委員会できちんとした数字に裏付けられた議論をしていただきたいと思います。
2. 今後、具体・詳細について検討を進めるにあたって、検討機関を設置すべき、また、過程において地方の意見を十分反映すべきといった点について意見が提出されておりますが、これを強く支持いたします。
3. 一部の大都市の中では、都市州として道州から独立すべきとの議論がありますが、今後の議論を不必要に拡散させないためにも、首都圏・東京を除き、地域主権型道州制には、都市州は並び立たないということを、明確に打ち出していただきたくお願いします。

以上